

# こどもの坐薬の入れ方

## 坐薬ってなあに？

- ☆ 坐薬は、肛門から挿入して直腸粘膜から吸収する薬です。体温により溶解して、局所から全身に速くゆき渡るので速効性があります。
- ☆ 坐薬は、胃や肝臓への負担が少ないので、乳幼児や飲み薬が苦手なこどもや吐き気や熱で薬が飲めないときに適しています。

## 坐薬のかたち



先端部

挿入方向

## 坐薬の入れ方のポイント

1. 保護者の方は、坐薬を入れる前に手を洗い、手を温めます。
2. 坐薬の先端を少し水でぬらしたり、ベビーオイルなどをつけて、肛門から入れやすくします。
3. 挿入する時のこどもの体位は、
  - ①こどもを仰向けに寝させて、しっかりと両手でこどもの足を持ち上げる形。
  - ②こどもを横向きに寝させて、足を曲げる形。
4. こどもに「ホー」・「フー」などの声を出させたり、深呼吸をさせて息を吐き、お腹の力が抜けた時に、坐薬を肛門へ挿入してください。
5. 坐薬が見えない程度に挿入し、挿入後はティッシュペーパーなどで1～2分くらい抑え、肛門から押し出されるのを防ぎます。
6. 5分後くらいに、肛門の様子を見てください。  
もし肛門部に坐薬が見えているようなら、出てきてしまう可能性もあるので、もう1度指で押し込んでください。



## 保管方法

- ・処方された坐薬は冷所（冷蔵庫）に保管してください。
- ・気温や室温が高い場合、常温の保管では溶けてしまうので注意してください。

富山市立富山市民病院

小児救急看護認定看護師 高林 裕子

